



埼玉県議会議員 山本まさの

2020年 春号

埼玉県議会
埼玉民主フォーラム 越谷支部
〒343-0821
越谷市瓦曽根1-20-6 K-1stビル3F
e-mail: masano.y4400@gmail.com
http://www.y-masano.jp/
お電話でのご連絡は、県議会控室へ
Tel: 048-833-1710 (平日8:30~17:15)



県民一人一人に合わせた新型コロナ対策をサポート

埼玉県は新型コロナウイルス対策として、一人一人の状態に合わせた情報やサポートの提供、県民の皆様からの問合せに対して適切な相談先等をご案内するLINE公式アカウント「埼玉県-新型コロナ対策パーソナルサポート」を開設しました。

ご自身や大切な人を守るため、LINEを利用されている方は、ぜひご登録ください。

大野元裕埼玉県知事からのメッセージ

新型コロナウイルス対策をより実効性のあるものにするためには、今の皆さんの状況を的確に把握し、理解することが必要です。

そこで、皆様から提供された情報を研究者の方々と連携して分析することで、新型コロナウイルスの実態を把握し、対応策を実施することができます。

新型コロナウイルスから身を守る行動は、一人一人の体調や生活習慣によって変わってきます。このアカウントでは、あなたの状況について教えていただくことで、あなた自身に合った情報もお知らせすることができます。

まずはメニューから質問への回答にご協力をお願いいたします。

なお、本質問はスマートフォンからのみご回答いただくことができますのであらかじめご承知おきください。



スマホでのLINE画面

※詳しい内容と登録は右のQRコード、または埼玉県ホームページより「埼玉県-新型コロナ対策パーソナルサポート」で検索してください。



体調が悪い、仕事を失った、経営が苦しいなど、とにかくご相談を!

体調が悪い → 埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
0570-783-770

新型コロナによる休業や解雇など → 埼玉県労働局 特別労働相談窓口
048-600-6262

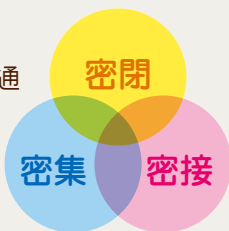
企業支援 → 地元の商工会議所・商工会
越谷市の場合は、越谷市商工会議所
048-966-6111

埼玉県における緊急事態措置の実施について

4月7日から5月6日まで、埼玉県全域に対して下記4点の緊急事態措置を実施します

1. 外出自粛を要請

県民の皆様に対して、医療機関への通院、食料・医療品・生活必需品の買い出し、職場への出勤、屋外への運動や散歩など生活の維持のために必要な場合を除き、不要不急の外出の自粛を要請いたします。特に、遊興施設など、いわゆる「3つの密」がそろう場への外出や集まりへの参加について自粛を要請いたします。【法第45条第1項適用】



2. 多数の者が参加するイベント開催についてお願い

事業者の皆様に対して、多数の者が参加するイベントの開催を控えるよう御協力をお願いいたします。

3. 県立学校への休業を要請

県立学校（特別支援学校を含む）について、県教育委員会に対して休業を要請いたします。県内の小中学校、幼稚園などについては、この方針を踏まえ、適切な措置を講ずるようお願いいたします。

4. 生活必需品の物資確保についてのお願い

生活必需品などの物資の確保について、事業者の皆様には県民が安心して購入できる環境を整えていただくとともに、県民の皆様には冷静な対応をお願いいたします。買い占めや売り惜しみなどについては、躊躇なく対応してまいります。





予算特別委員会で 質問に立ちました。

3月に開催された予算特別委員会の総括質疑で、私は3つのテーマについて質問しました。大野知事からは、いずれも前向きな回答がありました。



埼玉版SDGsの推進について * SDGsとは持続可能な開発目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓ってる。

山本まさの

① 全庁的にSDGs*を推進する庁内体制を整備し、埼玉県が取り組む重点テーマを検討するとあるが、17の大きな目標のうち、優先順位をつけるのか、重点的な目標を選ぶのか。
② SDGsは国や自治体、NGOだけでなく、教育機関や民間企業、そして市民一人一人も実施の主体になることを想定されているのも特徴だとされている。企業・団体だけでなく、一歩進んで県民一人一人に届くようなものも考えたかどうかと思うが、いかがか。

大野知事

① 埼玉版SDGsの重点テーマは、全て一度にはできないため、選択していく必要があると考えているが、その際に2つの視点を重視していく。まず1点目は、なるべく多くの主体に参画していただき官民協働で推進できるような、すなわち、SDGsの推進に当たっては、あらゆる主体との協働が必要であり、企業や団体などにも意見を聞きながら「そのテーマなら積極的に取り組みたい」と共感いただけるテーマを検討したい。

2点目の視点は、政策横断により多面的にアプローチする点である。部局の縦割りを排し、政策に横串を刺していくようなことがSDGsの特徴だと考えている。こうした2つの視点から重点テーマを検討し、ワンチームになれるような形で進めたい。
② SDGsについては、官民と申し上げたが民の中には一人一人のすべての県民が含まれていると考えており、可能な限り多くの方を巻き込めるようなテーマ設定をしたいと考えている。

山本まさの

日本ではSDGs「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」が最も低い達成度の評価に。また、「ジェンダー・ギャップ指数」の順位が153か国中121位と過去最低だった。SDGs「目標5」の順位について知事の見解は？

大野知事

たいへん深刻だと思っている。私が知事選挙に際して、演説で最も長い時間取り上げた政策は、実は男女共同参画である。中でも、男女の賃金格差を減らしていくためには、M字回復、つまり産後や子どもが大きくなった後に戻ってくる方々にしっかりとキャリアパスをつくること、女性が働く職場だけではなく、女性のキャリアや

収入を増やしていくことを掲げさせていただいた。これはあくまでも一例だが、女性活躍推進法の改正や政治分野における男女共同参画推進法などの法制面の整備だけではなく、県としてできる、誰一人取り残さない、ジェンダー・ギャップに対する回答の一つになり得るものだと思っているので、その方向に向かって努力をさせていただきたい。

「ジェンダー平等の実現と女性・女兒の能力強化」は、ぜひ取組をお願いします！



女性活躍の推進について

* 30% Clubは企業の持続的成長を実現するために、役員に占める女性割合を向上させることを目的とした世界的キャンペーン。日本でも2019年5月1日にスタート。

山本まさの

- ① 女性活躍を推進するにあたり、「上田県政の継承と発展」を来年度の予算編成の中で、どのように反映させているのか？
- ② 「30% Club Japan」(サーティパーセントクラブジャパン)*の埼玉版を設置してはどうか。

大野知事

- ① 上田前知事が進めてきた「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」

の良いところは伸ばし、改めるべきところは改め、足りないところを底上げしていく。仕事と家庭の両立支援に取り組むための「多様な働き方実践企業」の制度については、時間外労働の削減や有給休暇の取得など、特に女性に負担がかかっている部分の見直し、男性の育児休暇キャンペーン、さらには、高いスキルや豊富なキャリアを持つ女性が復職を望む場合には女性キャリアセンターにおいて新たに業界団体と連携したセミナーを行うなどの

取組により、「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」をより良い実り多いものに変えていく。②企業の中で女性管理職を育てていくことが重要であるとともに、男女ともに意識改革をしていくことが必要。経営者には、先行事例の発表や交流会などの実施、課題がある場合には社会保険労務士など専門家を派遣して意識改革をしてほしい。また、女性に管理職の研修を実施し、女性のモチベーション、資質向上のためのキャリアアップを図りたい。

ジェンダーギャップの少ない社会を目指すことが我々政治家に課せられた使命



歯科医療体制の推進について

山本まさの

- ① 口腔ケア対策について
- ② 在宅歯科医療推進拠点の利用状況は？
- ③ 在宅歯科医療拠点の今後の展開について
- ④ 子供の口腔ケアは？

大野知事

- ① 歯と口の健康と、全身の健康が関わっているということが広く周知されるよう、埼玉県歯科医

師会、市町村、保険者などと協力しながら取り組んでいく。②埼玉県歯科医師会に委託して、推進窓口などを30か所設置。平成27年4月の開始から3,200人の在宅歯科診療につながっている。また利用者は年々増加している。③在宅歯科診療のニーズはまだかなり低い状況にあり、多職種との連携、拠点における相談の充実、県民への更なるPRが課題。埼玉県歯科医師会

と連携を取りながら、一層力を入れていく。④平成30年度から生活保護受給世帯などの子供が通う学習支援教室に歯科医師や歯科衛生士を派遣して、フッ化物洗口や歯みがき指導を行う「子供の健口支援事業」を実施している。小児期から健康に生きるチャンスをあらゆる子供たちに与えることが、将来における健康と、健康長寿社会に対するニーズに応えることだと考えている。



その他、部局別質疑

- 総務部・女性管理職登用について・男性職員の育児休業取得について
- 県民生活部・外国人の日本語学習について
- 病院局・県立4病院の地方独立行政法人化について
- 保健医療部・コバトン健康マイレージについて・健康長寿サポーター、スーパー健康長寿サポーターについて
- 県土整備部・川の国埼玉はつらつプロジェクトについて
- 都市整備部・空き家等対策について
- 下水道局・バイオガス発電について

令和2年度（2020）埼玉県予算が成立！

県政史上最大の予算総額

2月定例会県議会（2月20日～3月27日）では、新型コロナウイルス対策の補正予算案など94議案が可決・同意、1議案は継続となりました。補正後の令和2年度一般会計予算総額は、過去最高の**1兆9614億3464万円**です。

予算編成の基本方針

大野知事就任後初の予算は、

1. 日本一暮らしやすい埼玉の実現
2. 「誰一人取り残さない」SDGs 施策の推進～埼玉版SDGs～
3. 厳しさを増す財政状況を打破するための行財政改革

を基本方針に編成されました。

安心・元気のスタートアップ予算として「安心・安全しっかり確保」「持続可能な成長・発展」「誰もがいきいき活躍」を最優先に取り組むとともに、5か年計画に基づく各施策の推進やワンチーム埼玉の施策の推進にも重点的に予算が配分されています。

また、今定例会で委員会等の変更があり、私の所属は、「環境農林委員会」「公社事業特別委員会」に決定しました。

越谷警察署の改築に 予算がつきました！

3億1,765万円

越谷警察署庁舎の改築に向けた設計・拡張用地の購入費用となります。開署予定は、令和7年度です。



日本一暮らしやすい埼玉県の実現へ 令和2年度 注目の予算

① 安心・安全しっかり確保

災害に強い埼玉の構築

◆災害対策本部の機能強化（埼玉版FEMA）など…**7,413万円**

米国連邦緊急事態管理庁（FEMA）を参考に平時から災害ごとのシナリオを作成し、図上訓練を繰り返すことで、関係機関と協力できる体制を構築。

◆県土強靱化緊急治水対策プロジェクト ……**85億881万円**

令和元年の台風被害を教訓に、河川インフラの強靱化などを実施し、災害に強い県土づくりを進める。

医療体制の充実

◆ドクターカーの広域運行拠点整備 ……**2,630万円**

県の東西2か所の救命救急センターに365日24時間体制のドクターカー広域運行拠点を整備。

② 持続可能な成長・発展

埼玉の魅力発信

◆埼玉県ゆかりの3偉人関連事業など ……**1億100万円**

令和3年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公のモデルに選ばれた渋沢栄一をはじめ、塙保己一、荻野吟子といった埼玉県ゆかりの偉人に関するイベントなどを通じ、埼玉の魅力を発信する。

未来を見据えた基盤づくり

◆埼玉版SDGsの推進 ……**1,400万円**

全庁的にSDGsを推進する庁内体制の整備、官民で構成するコンソーシアムの設置、SDGsを自ら取り組む事業者・団体を登録する「SDGsパートナーシップ制度」（仮称）の創設、取組事例の発信、環境関連団体等との連携による取組促進、啓発フォーラムの開催。

③ 誰もがいきいき活躍

人生100年を見据えたシニアの活躍推進

◆埼玉県コバトン健康マイレージの推進 ……**3億7,107万円**

スマートフォンアプリの機能向上や、さらにポイントがたまる仕組みの導入などで魅力を高め、参加者拡大を図るとともに高齢者のスポーツ参加を支援。

子育て応援埼玉

◆私立高校教育費負担軽減のための助成 ……**149億9,700万円**

全国トップクラスの補助をさらに拡大し、授業料の負担軽減を充実。

誰もが活躍できる社会の実現

◆「共生社会プロジェクト」の推進 ……**4億5,025万円**

女性が働きやすい環境の整備、LGBTQの実態調査・啓発など。